

第6回円空大賞円空賞

林武史（はやしたけし）

プロフィール

1956年：岐阜県岐阜市に生まれる

1982年：東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

1997年：個展（東京画廊、ギャラリーなつか／東京）

1998

-99年：文部省在外研究員としてパリに滞在

1999年：「30周年記念展—森に生きるかたち」（箱根彫刻の森美術館／神奈川）

2000年：第3回光州ビエンナーレ（光州市立美術館／韓国）出展

2001年：個展「水田」（ヨコハマポートサイドギャラリー／神奈川）

「求心力／遠心力うらわと現代の美術」（うらわ美術館／埼玉）出展

2002年：「東日本—彫刻39の造形美」（東京ステーションギャラリー／東京）出展

2002

-03年：「みちのくアートフェスティバル2002 高山登×林武史」（国営みちのく杜の湖畔公園／宮城）

2003年：「彫刻の身体」（東京芸術大学大学美術館陳列館／東京）出展

2004年：「表現から表現へ—小清水漸＋林武史」（ヨコハマポートサイドギャラリー／神奈川）

2006年：個展（伊勢現代美術館／三重）、個展「石間」（東京画廊＋B T A P／東京）

2007年：個展「雨の記憶」（GalleryHIRAWATA／神奈川）

第22回現代日本彫刻展'07（宇部／山口）にて毎日新聞社賞受賞

2008年：個展「大地の記憶」（キタニ／岐阜）、「彫刻・林間学校」（メルシャン軽井沢美術館／長野）出展

2009年：「MILESTONE」（EdinburghCollegeofArt／UK）

2010年：「STONEprojectExhibition」

（YorkshireSculpturePark, PierCentreOrkney, CassSculptureFoundation／UK）

2011年：「林武史石の舞・土の宴」展（岐阜県美術館／岐阜）



選評

林武史氏の彫刻作品は石を素材としているが、その石は空に屹立する石ではなく、地にささやかに並べられた石である。その石によって林氏は、水田や歩く人などを表現する。林氏は、長い間稲作農業を営んできた日本人の長い歴史をさりげなく表現しようとするのであろうか。これらの作品の中には彼の日本人に寄せる愛情とユーモアがあふれているように思われる。



立つ人—一月見台（2010年制作）
岐阜県美術館



水田—南有馬（2004年制作）
南有馬／長崎



石間—Edinburgh（2009年制作）
YorkshireSculpturePark／UK



紅の庭（2011年制作）
岐阜県美術館



林間（2003年制作）
福井県立鯖江高校ギャラリー—王山／福井